

【生産】 スマート農機による省力化・軽労化

ドローン防除、ラジコン草刈、収穫ロボット、農業機械のアシスト装置等の活用により、作業の大幅な省力化・軽労化を実現

◆これまでの取組

ドローン防除、直進アシストトラクター、スマート田植機、ラジコン草刈機の実証。省力化、軽労化などの効果が確認され、一部地域では技術の導入が開始

◆残された課題

- ①水稲では、特に中山間地域でのスマート農機の推進を図るため、農業者への情報提供や実演、体験の場が必要
- ②ばれいしょ以外の野菜、果樹のドローン防除技術の確立が必要。また、ドローン防除の登録農薬が少ないため登録拡大が必要
- ③自動収穫ロボット、ドローンを活用した施肥、播種、運搬技術などの技術確立が必要
- ④多くのスマート農業技術の導入コストは高いため、コスト削減の検討が必要

◆今後の取組

- ①スマート農機を体験するための実演会や研修会の実施
- ②ドローン防除で行う品目の拡大に伴う実証と農薬の登録拡大を推進
- ③アスパラガスの収穫ロボット、茶のロボット中切機やドローンの多目的利用を実証
- ④作業受託や地域内での農機のシェアリング、レンタルなど次世代型農業支援サービスの活用を促進



ドローンによる防除



ラジコン草刈機